

大学番号：公010

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

共同設置

秋田大学大学院 工学資源学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻

秋田県立大学大学院 システム科学技術研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

秋田大学：国立大学法人 秋田大学

秋田県立大学：公立大学法人 秋田県立大学

平成25年5月1日現在

秋田大学：作成担当者

担当部局（課）名 工学資源学研究科

職名・氏名 シュサ ソウムタントウ アソウアツシ
主査（総務担当） 麻生厚司

電話番号 018-889-2305

（夜間） 018-889-2305

F A X 018-889-2300

e-mail koso@jimu.akita-u.ac.jp

秋田県立大学：作成担当者

担当部局（課）名 教育本部

職名・氏名 ホンジョウ キョウム タグチカズヤ
本荘キャンパス教務チーム 田口和哉

電話番号 0184-27-2700

（夜間）

F A X 0184-27-2180

e-mail taguchi@akita-pu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は、設置時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

項 目	ページ
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	6
3 施設・設備の整備状況, 経費	9
4 既設大学等の状況	11
5 教員組織の状況	13
6 留意事項に対する履行状況等	16
7 その他全般的事項	17

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者, 大学名

国立大学法人 秋田大学：秋田大学大学院

公立大学法人 秋田県立大学：秋田県立大学大学院

(2) 大学の位置

(秋田大学)

〒010-8502：秋田県秋田市手形学園町1番1号

(秋田県立大学)

〒010-0195：秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(3) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
秋田大学	理事長 (該当しない場合は不要)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
	学長			
	研究科長			
	専攻長			
秋田県立大学	理事長 (該当しない場合は不要)			
	学長			
	学部長			
	学科長等			

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の専攻の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
秋田大学大学院工学資源学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻 修士(工学)	2 年	12 人	24 人	基礎となる学部等 工学資源学部
秋田県立大学大学院システム科学技術研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻 修士(工学)	2	5	10	基礎となる学部等 システム科学技術学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

大学名	報告年度 区分	平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
秋田大学	A 入学定員	12人 (若干名) [若干名]	12人 (若干名) [若干名]	12人 (若干名) [若干名]	12人 (若干名) [若干名]	0.75倍	
	志願者数	(-) (-) [-] [-] 12 -	(-) (-) [-] [-] 9 -	(-) (-) [-] [-] 9 -	(-) (-) [-] [-] -		
	受験者数	(-) (-) [-] [-] 12 -	(-) (-) [-] [-] -	(-) (-) [-] [-] 9 -	(-) (-) [-] [-] -		
	合格者数	(-) (-) [-] [-] 12 -	(-) (-) [-] [-] -	(-) (-) [-] [-] 7 -	(-) (-) [-] [-] -		
	B 入学者数	(-) (-) [-] [-] 12 -	(-) (-) [-] [-] -	(-) (-) [-] [-] 6 -	(-) (-) [-] [-] -		
	入学定員超過率 B/A	1.00		0.50			
秋田県立大学	A 入学定員	5人 (若干名) [若干名]	5人 (若干名) [若干名]	5人 (若干名) [若干名]	5人 (若干名) [若干名]	0.80倍	
	志願者数	(1) (-) [-] [-] 5 -	(-) (-) [-] [-] -	(-) (-) [-] [-] 4 -	(-) (-) [-] [-] -		
	受験者数	(1) (-) [-] [-] 4 -	(-) (-) [-] [-] -	(-) (-) [-] [-] 4 -	(-) (-) [-] [-] -		
	合格者数	(1) (-) [-] [-] 4 -	(-) (-) [-] [-] -	(-) (-) [-] [-] 4 -	(-) (-) [-] [-] -		
	B 入学者数	(1) (-) [-] [-] 4 -	(-) (-) [-] [-] -	(-) (-) [-] [-] 4 -	(-) (-) [-] [-] -		
	入学定員超過率 B/A	0.80		0.80			

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

大学名	報告年度 学 年	平成24年度		平成25年度				備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
秋田大学	1年次	[-] 12	[-] -	[-] 6	[-] -			
	2年次	[]	[]	[-] 12	[-] -			
				[]	[]			
	計	[-] 12		[-] 18				
秋田県立大学	1年次	[-] 4	[-] -	[-] 4	[-] -			2年次学生(1名)は、平成24年4月に建築環境システム学専攻から転専攻による移籍者。
	2年次	[]	[]	[-] 5	[-] -			
				[]	[]			
	計	[-] 4		[-] 9				

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
秋田 大学	平成24年度 入学者	12人	0人	平成24年度	—人	—人		0%
				平成25年度	—人	—人		
	平成25年度 入学者	6人	0人	平成25年度	—人	—人		0%
	合計	18人	0人					0%
秋田 県立 大学	平成24年度 入学者	4人	0人	平成24年度	—人	—人		0%
				平成25年度	—人	—人		
	平成25年度 入学者	4人	0人	平成25年度	—人	—人		0%
	合計	8人	0人					0%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学資源学研究所 共同ライフサイクルデザイン工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数				専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教	授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎・倫理関係科目	リサイクルプロセス設計特論	1後	秋田大学		2								兼 1	
	プレゼンテーション技法	1前	秋田大学		1								兼 1	
	インターンシップⅠ	随時	秋田大学		1									
	インターンシップⅡ	随時	秋田大学		2									
	技術者倫理特論Ⅰ	1前	秋田大学		2								兼 1	
	技術者倫理特論Ⅱ	1後	秋田大学		2								兼 1	
	特別講義（工学資源学特論）	1後	秋田大学		1								兼 7	
	特別講義（マーケティング論）	1前	秋田大学		1								兼 1	
	特別講義（ベンチャー起業論）	1後	秋田大学		1								兼 1	分担教員の辞職による減(25)
	特別講義（国際関係論）	1前	秋田大学		1								兼 1	
	特別講義（資源・工業経済論）	1通	秋田大学		1								兼 2	
	特別講義（リスクマネジメント）	1前	秋田大学		1								兼 1	
	プレゼンテーション	1後	秋田県立大学		2								兼 3	
	実践英語 A	1前	秋田県立大学		2								兼 1	
	英語プレゼンテーション A	1後	秋田県立大学		2								兼 1	
	風土・文化構造論	1前	秋田県立大学		2								兼 1	
	科学技術と倫理	1前	秋田県立大学		2								兼 1	
	感性情報と環境の心理	1前	秋田県立大学		2								兼 1	
	地域社会と家族	1後	秋田県立大学		2								兼 1	
	生体情報と運動の生理	1前	秋田県立大学		2								兼 1	
	フィールドワーク（実践科目）	1・2通	秋田県立大学		2								兼 1	
	知的所有権論 A	1前	秋田県立大学		2								兼 4	
標準化論 A	1後	秋田県立大学		2								兼 4		
信頼性工学 A	1前	秋田県立大学		2								兼 4		
失敗工学 A	1後	秋田県立大学		2								兼 3		
地域活性化システム特論	1後・2後	秋田県立大学		2								兼 1		
専門科目	ライフサイクルプランニング基礎	1前	秋田県立大学	2				1					兼 3	
	ライフサイクルデザイン工学基礎	1前	秋田大学	2				1	4				兼 1	採用計画に基づく専任教員の配置(採用)(24)担当 三島 望(教授)
	ライフサイクルデザイン製品技術論	1後	秋田県立大学		2								兼 1	
	環境型生産管理論	1後	秋田県立大学		2								兼 1	
	ライフサイクルアセスメント	1前	秋田県立大学		2				1					
	フォールト・トランス工学	1後	秋田大学		2			1					兼 1	専任教員の辞任による担当教員の喪失(25)
	ライフサイクルデザイン工学特論	2前	秋田大学		2			1	1				兼 1	採用計画に基づく専任教員の配置(学内異動)(24)担当 佐藤正志(准教授)
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅰ	1後	秋田大学		1								兼 1	
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅱ	2前	秋田大学		1								兼 1	採用計画に基づく兼任教員の採用(25)
	熱流体エネルギー移動・変換工学	1後	秋田大学		2			1						
	電磁エネルギー変換工学	1前	秋田大学		2			1						
	電子デバイス工学	1後	秋田大学		2								兼 1	
	マイクロ加工工学特論	1前	秋田大学		2				1					
	電子制御機械工学特論	1後	秋田大学		2								兼 1	
	次世代自動車工学	1後	秋田県立大学		2			1						
	環境工学	1後	秋田県立大学		2								兼 1	
	環境電磁工学	1前	秋田県立大学		2				1					
	資源システム設計学特論	1後	秋田大学		2								兼 1	
	水処理工学特論	1前	秋田大学		2								兼 1	
	モレキュラー・エンジニアリング	1後	秋田大学		2								兼 1	
	先端機能材料学特論	1後	秋田大学		2				1					
	応用物性学	1前	秋田大学		2				1					
	都市環境論	1後	秋田県立大学		2				1				兼 1	
	環境・エネルギー工学	1前	秋田県立大学		2								兼 1	
	地盤工学特論	1後	秋田大学		2								兼 1	
	地域産業論	1後	秋田大学		2								兼 9	講義内容充実のため、講師陣(地域産業界から)を追加(24)
	地域産業再構築論	1前	秋田県立大学		2			1					兼 5	
ライフサイクルデザイン工学セミナー	1通	秋田県立大学		2				2	3					
								3						
								-4						担当教員の辞任による減(25)
ライフサイクルデザイン工学課題研究(修士論文)	1・2通	秋田県立大学		8			2	3						
								3						
								-4						担当教員の辞任による減(25)

- (注) ・ 設置計画書様式第2号(その2の2)又は「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合は、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、記入してください。

(2) 授業科目数

大学名	届出時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
秋田大学	科目 4	科目 51	科目 0	科目 55	科目 4 [±0]	科目 51 [±0]	科目 0 [±0]	科目 55 [±0]	
秋田県立大学	科目 4	科目 51	科目 0	科目 55	科目 4 [±0]	科目 51 [±0]	科目 0 [±0]	科目 55 [±0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
秋田大学	1	該当なし					
	2						
	3						
秋田県立大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
秋田大学	1	該当なし					
	2						
	3						
秋田県立大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

秋田大学： 該当なし

秋田県立大学： 該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(秋田大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(秋田県立大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(〇〇大学)

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)						
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成25年4月 専任教授1名を新規 採用のため(25)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(△△大学)

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩○分, ○km)	
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	○○短期大学と共用		
	m ² (m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	○○学部 ○○学科			室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]				
	冊	種	点	点	点		
	○○学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注)・ 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋 田 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容量	学位又は称号	定員超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次人	人		倍		
教育文化学部								秋田市手形学園町1番1号
学校教育課程	4	100	—	400	学士(学校教育)	1.03	平成10	
地域科学課程	4	65	—	260	学士(地域科学)	1.02	平成10	
国際言語文化課程	4	65	—	260	学士(国際言語文化)	1.05	平成10	
人間環境課程	4	60	—	240	学士(人間環境)	1.04	平成10	
医学部								秋田市本道一丁目1の1
医学科	6	120	2年次 5	717	学士(医学)	1.00	昭和45	
保健学科	4	106	3年次 14	452	学士(保健学) 学士(看護学)	1.00	平成14	
工学資源学部								秋田市手形学園町1番1号
地球資源学科	4	60	—	240	学士(資源学) 学士(工学)	1.02	平成10	
環境応用化学科	4	55	—	220	学士(工学)	1.08	平成20	
生命化学科	4	32	—	128	学士(工学) 学士(理学)	1.01	平成20	
材料工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.06	平成10	
情報工学科	4	50	—	200	学士(工学)	1.12	平成10	
機械工学科	4	77	—	308	学士(工学)	1.12	平成10	
電気電子工学科	4	75	—	300	学士(工学)	1.06	平成10	
土木環境工学科	4	51	—	204	学士(工学)	1.05	平成10	
各学科共通			3年次 12	24				
大学院教育学研究科 (修士課程)								秋田市手形学園町1番1号
学校教育専攻	2	13	—	26	修士(教育学)	1.07	平成元	
教科教育専攻	2	31	—	62	修士(教育学)	0.54	平成元	
大学院医学系研究科 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1
医科学専攻	2	5	—	10	修士(医科学)	0.10	平成19	
(博士前期課程)								
保健学専攻	2	12	—	24	修士(看護学) 修士(リハビリテーション科学)	1.00	平成19	
(博士後期課程)								
保健学専攻	3	3	—	9	博士(保健学)	1.44	平成21	
(博士課程)								
医学専攻	4	30	—	120	博士(医学)	1.01	平成19	
大学院工学資源学研究科 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号
地球資源学専攻	2	17	—	34	修士(工学) 修士(資源学)	1.14	平成14	
環境応用化学専攻	2	20	—	40	修士(工学)	0.72	平成24	
環境物質工学専攻	—	—	—	—	修士(工学)		平成14	平成24年より学生募集停止
生命科学専攻	2	12	—	24	修士(理学)	0.91	平成24	
材料工学専攻	2	23	—	46	修士(工学)	0.84	平成14	
情報工学専攻	2	16	—	32	修士(工学)	0.62	平成14	
機械工学専攻	2	26	—	52	修士(工学)	0.74	平成14	
電気電子工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.00	平成14	
土木環境工学専攻	2	11	—	22	修士(工学)	0.49	平成14	
共同ライフサイクルデザイン工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.75	平成24	
大学院工学資源学研究科 (博士後期課程)								秋田市手形学園町1番1号
資源学専攻	3	4	—	12	博士(工学) 博士(資源学)	0.41	平成14	
機能物質工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.41	平成14	
生産・建設工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.66	平成14	
電気電子情報システム工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.41	平成14	

秋田県立大学との入学定員の合計は17名、収容定員も17名。

大学の名称	秋 田 県 立 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
【システム科学技術学部】						1.03		由利本荘市土谷字海老ノ口84番4
機械知能システム学科	4	80		320	学士(工学)	1.03	平成11	
電子情報システム学科	4	80		320	学士(工学)	1.03	平成11	
建築環境システム学科	4	40		160	学士(工学)	1.01	平成11	
経営システム工学科	4	40		160	学士(工学)	1.09	平成11	
【生物資源科学部】						1.06		秋田市下新城中野字街道端西241番438
応用生物科学科	4	40		160	学士(生物資源科学)	1.04	平成11	
生物生産科学科	4	40		160	学士(生物資源科学)	1.06	平成11	
生物環境科学科	4	30		120	学士(生物資源科学)	1.07	平成11	
アグリビジネス学科	4	40		160	学士(生物資源科学)	1.07	平成18	南秋田郡大湯村字南2丁目2番地
【システム科学技術研究科】						0.83		
(博士前期課程)						0.85	平成14	
機械知能システム学専攻	2	17		34	修士(工学)	0.79	平成14	由利本荘市土谷字海老ノ口84番4
電子情報システム学専攻	2	17		34	修士(工学)	0.66	平成14	
建築環境システム学専攻	2	6		12	修士(工学)	1.10	平成14	
経営システム工学専攻	2	5		10	修士(工学)	0.80	平成24	
共同ライフサイクルデザイン工学専攻	2	5		10	修士(工学)	0.45		秋田大学との入学定員の合計は17名、収容定員も17名。
(博士後期課程)						0.45	平成14	
総合システム科学専攻	3	8		24	博士(工学)			
【生物資源科学研究科】						0.78		
(博士前期課程)						0.78	平成23	秋田市下新城中野字街道端西241番438
生物資源科学専攻	2	28		56	修士(生物資源科学)	0.73		
(博士後期課程)						0.73	平成23	
生物資源科学専攻	3	5		15	博士(生物資源科学)			

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

(2) 専任教員数

	設置時の計画					変更状況					年齢構成	
	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
〇〇大学	()	()	()	()	()	[]	[]	[]	[]	[]	歳	名
△△大学	()	()	()	()	()	[]	[]	[]	[]	[]	歳	名

	設置時の計画			変更状況			年齢構成	
	研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
秋田大学	6 (7)	2 (1)	8 (8)	6 [±0]	1 [△1]	7 [△1]	65 歳	0 名
秋田県立大学	5 2 (5) (2)	0 3 (0) (3)	5 (5)	5 [±0]	0 3 [±0]	5 [±0]	67 歳	0 名

- (注) ・ 様式は、学部・学科の場合は上段、研究科の場合は下段を使用してください。
- ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 - ・ 「年齢構成」には、当該学部等における教員の定年年齢及び平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

	番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
〇〇大学	1			
	2			
	3			
△△大学	1			
	2			
	3			

- (注) ・ 専任教員辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

〇〇大学：	
△△大学：	

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

(注)・「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。

- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学資源学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

(〇〇大学)

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学毎に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

(〇〇大学)

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等

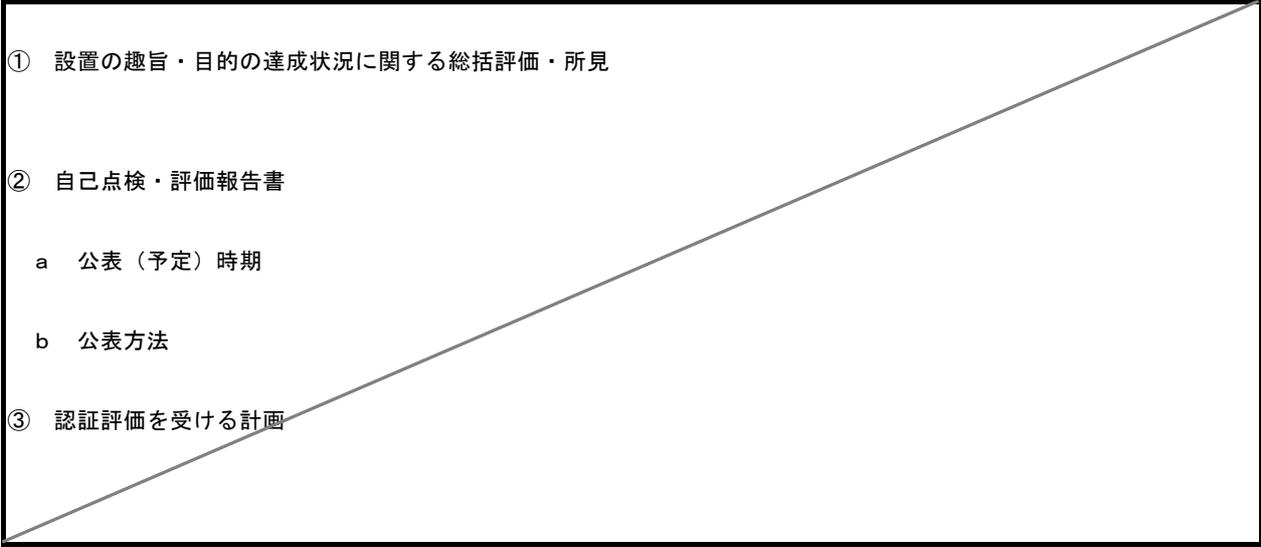
(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付してください。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載してください。(記入例参照)
- ・ 構成大学毎に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

(〇〇大学)

- 
- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - b 公表方法
 - ③ 認証評価を受ける計画

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 構成大学毎に記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

(秋田大学)

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (H 2 5 年 5 月 3 1 日)

(秋田県立大学)

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (H 2 5 年 5 月 3 1 日)